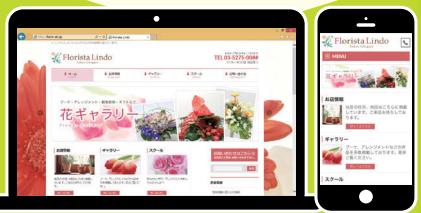


HTML・CSSの知識は一切不要！
はじめてでも、挫折しません。



パソコン&スマホ
サイト両対応



いちばんやさしい WordPressの教本

人気講師が教える
本格Webサイトの作り方

WordPress 4.X対応
WordPress入門書
売上No.1*

著者プロフィール

石川栄和（いしかわひでかず）

Webを中心とした広告制作事業を行う株式会社ベクトルの代表取締役。ビジネス向けWordPressテーマ「BizVektor」の公開をはじめ、WordPressに関するイベントでの登壇、協賛・実行委員として開催を支援するなど、WordPressの普及に関わっている。

- 株式会社ベクトル：<http://www.vektor-inc.co.jp>
- BizVektor [ビズベクトル]：<http://www.bizvektor.com>



大串 肇（おおぐしはじめ）

フリーランスのWebディレクターとして屋号「mgn」にて活動中。WordPressコミュニティーから集まった、現役のディレクター、デザイナー、プログラマー、アフィリエイターなどが共同執筆するブログ「WP-D」の発起人。WordCamp Tokyo 2013において実行委員長を務める。

- mgn：<http://m-g-n.me>
- WP-D：<http://wp-d.org>



星野邦敏（ほしのくにとし）

自社保有メディアのサイト運営によるインターネット広告事業・WordPressによるサイト制作事業・コワーキングスペース運営事業を行う株式会社コミュニティコムの代表取締役。埼玉県さいたま市の大宮駅東口徒歩1分のコワーキングスペース「7F」の運営代表者。大宮経済新聞の編集長。WordPress日本語公式サイトのイベントカレンダー更新、WordPressイベントにスタッフやスピーカーとして活動、WordPressに関する講師回数は100回を超えるなど、WordPressの普及に関わっている。



- 株式会社コミュニティコム：<http://www.communitycom.jp>
- コワーキングスペース「7F」：<http://office7f.com>
- 大宮経済新聞：<http://omiya.keizai.biz>

執筆協力：鈴木 舞（すずきまい）

本書は、WordPressについて、2014年10月時点での情報を掲載しています。

また、WordPressのバージョンは4.0を使用しています。

本文内の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の登録商標または商標です。

なお、本文中にはTMおよび®マークは明記していません。

はじめに

数あるWordPress関連書籍の中から「いちばんやさしいWordPressの教本」を手に取っていただき、ありがとうございます。これから私たちと一緒にWordPressを利用した、Webサイト（ホームページ）の作り方を学んでいきましょう。

でも「Webサイトを作る」と考えると、専門的な内容が出てきて難しそうな印象がありませんか？大丈夫です！本書ではソースコードを書くといったプログラム的な作業はなるべく不要になるように考えました。基本的にはマウス操作だけでどんどん進められる構成になっています。

そんな内容をご評価いただけたのか売れ行きも好調で、おかげ様で第2版を刊行するにいたりました。第2版では、近年スマートフォンをはじめとするモバイル端末への対応がより重要な背景も踏まえて、モバイル端末での表示画面も追加しつつ、最新のWordPress 4.0の画面で手順を説明しています。

WordPressは、シンプルでわかりやすい投稿画面で操作でき、さまざまな機能を追加するためのプラグインという仕組みを利用してすることで、Webサイトを簡単にパワーアップできます。楽しながら、実力のあるWebサイトと一緒に作っていきましょう！

もちろん、HTMLやCSS、PHPといったプログラムの知識があれば、さらに独自のカスタマイズを加えていくこともできます。本書が、ただ簡単なだけではないWordPressの奥の深さに興味を持ってもらえるきっかけになってくれると幸いです。

本書の執筆にあたり、コワーキングスペース「7F」スタッフの鈴木舞さんには原稿を読んでいただきました。インプレスのクリエイティブビジネス編集部の皆さんや、編集担当の竹内亮介さんには、編集者の域を超えてご協力いただきました。この場を借りて感謝いたします。それでは一緒にWordPressでWebサイトを作っていきましょう！

2014年10月
石川栄和、大串 肇、星野邦敏

「いちばんやさしいWordPressの教本」の読み方

「何のためにやるのか」がわかる！

タイトル

レッスンの目的をわかりやすくまとめてあります。

リード

このレッスンを読むとどうなるのか、何に役立つかを解説しています。

Chapter 7
Webサイトへの集客を強化しよう

Lesson 49 [Webサイトへの集客] 訪問してもらえるWebサイトにしましょう

せっかく時間をかけてWebサイトを作成しても、誰にも訪問してもらえない意味があるません。そのためには、まずは訪問する価値のある情報をたくさん用意しておくことが重要です。さらに、ただ情報が置いてあるだけでは、Webサイトの訪問には

つながりません。情報が用意できたら、自分がWebサイトにどんな情報があるのかをさまざまな手段で告知していきます。このサイクルを意識して、少しずつ訪問者を増やしていきましょう。

○ 訪問したくなる情報が掲載されているか



ついにWebサイトが完成しました！みんなが訪問してくれるのが楽しみです！



作っただけでは誰も来てくれませんよ。ちゃんとWebサイトの存在を告知しないと、この町にはほかにも花屋さんはあるんですか？



駅の反対側にライバルのお店があります。



なるほど、このお店は強敵です。Webサイトもかなり前から運営されていてコンペティションが激しく、「花屋 市ヶ谷」で検索されるご最初に表示されます。



このお店にだけは負けられないぞ！どうやったらWebサイトにお客さんを集められるんですか？



まずはどういう経路でWebサイトに訪問されるのかを理解して、それぞれ対策していきましょう。

「いちばんやさしいWordPressの教本」は、はじめての人でも迷わないように、わかりやすい説明と大きな画面でWebサイトの作り方を解説しています。

薄く色の付いたページでは、WordPressでWebサイトを作る際に必要な考え方を解説しています。実際の手順に入る前に、操作の目的と意味をしっかり理解してから取り組めます。

Chapter 7
Webサイトへの集客を強化しよう

○ Webサイトを訪問する4つの経路を覚える

- 告知したURL
- Googleなどの検索エンジン
- ソーシャルメディアの投稿
- ほかのWebサイトからのリンク

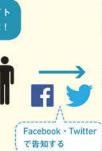
まずは訪問者がどんな経路でWebサイトに訪れるのかを把握しておきましょう。まず、わかりやすいのはURLを入力してもらうことです。チラシやショップカードなどで告知したURLを訪問してもらうバーコードです。また、インターネットならではの経路として、Googleなどの検索エンジンたどって訪問されるケースも意識しておきましょう。さらに、最近ではお店のTwitter/Facebookページなどのソーシャルメディア(SNS)で、Webサイトの更新情報を発信するケースも増えています。また、Webサイトのコンテンツが充実し、知名度が上がっていくと何かのWebサイトで紹介されたりリンクがおかれることもあるでしょう。

○ 検索でヒットするWebサイトを目指す



検索エンジンから訪問してもらうことを覚えるには、検索エンジンの仕組みを知ることが重要です。検索エンジンは、その時点で力をインデックス(自動的に検索エンジンに各ページが登録される)します。その後、検索エンジンの独自アルゴリズムによってワードでの表示順序が決定されます。つまり、検索エンジンに正しく認識してもらうための対策が重要なわけです。詳しくはLesson 51, Lesson 52で解説しています。

○ ソーシャルメディアを利用して告知する



Webサイトを作成したら、まずはリアルな友達、ご近所、仕事仲間にWebサイトを公開したいということを伝えるのもいい方法です。すでにFacebookやTwitterを利用しているなら、そこでも同じようにWebサイトを開いたことを伝えましょう。ソーシャルメディアを利用した告知は、検索エンジンには強い威力で告知できることも魅力です。また、Webサイトの訪問時にWebサイトの情報がソーシャルメディア上で広めてもらいたいやすいように対策しておことも重要な点です。詳しくはLesson 48, Lesson 54で解説しています。

本文

Webサイトを作る際に大事な考え方を、画面や図解をまじえて丁寧に解説しています。

会話パート

実際のセミナーや講義をもとにしたやりとりで、その場で教わっているかのように理解を深められます。

「どうやってやるのか」 がわかる！

手順

番号順に操作をしていきます。画面のどこを操作するのかも、赤く囲んで指しています。



□ 8 □

よくある質問や迷いがちなことを、Q&A形式で解説しています

操作手順は、大きな画面でひとつひとつのステップを丁寧に解説しています。操作途中に迷いそうなことは、POINTやQ&Aで補足説明があるのでつまずきません。

POINT

その操作を行う際の注意点や
補足説明です。



COLUMN

キーカラーの(明)と(薄)のコツ

手順の画面で設定するキーボード（今は、ボタンなどにマスクピッターコードをさせたときに表示される色です）。カラースライダーをキーボードよりも上げて、ボタンを選択していることをアピールできるように鮮やかに設定しましょう。手順の画面で設定するキーボード（簿）は、メインメニューにマウスクリックを終わらせるときの背景色として表示されます（色彩が高め）とメニューの文字の読みなくなってしまうので、文字の見やすさを重ねないように青い色を設定します。今からカラーピッカーカーは一番上へ、右側の速度スライダーは一番下より少し上へ引いてください。設定になります。

A screenshot of the Florista Lindo website's color selection interface. It features a red header bar with the text 'お問い合わせはこちる' (Contact us here) and a 'お問い合わせ' (Contact us) button. Below the header is a search bar with placeholder text '花屋さんやお花の商品を検索' (Search for flower shop or flower products). The main content area shows a small image of a pink rose, followed by three colored squares labeled '1 カラー' (1 Color), '2 色' (2 Colors), and '3 色' (3 Colors). At the bottom, there is explanatory text in Japanese: 'キーカラー(明)はボタンにマウスオーバーした際に表示される(上画面)。キーカラー(暗)は選択中のメニューの下地の色として表示される(下画面)' (The bright key color is displayed as a button when the mouse hovers over it (top screen). The dark key color is displayed as the background color of the selected menu item (bottom screen)).

23

レッスンに関連する知識や知っておくと役立つ知識を、コラムで解説しています。

※ここで紹介している紙面はイメージです。本書の実際の内容とは異なります。

いちばんやさしい WordPress の教本

人気講師が教える
本格Webサイトの作り方

WordPress 4.X 対応



Contents

目次

著者プロフィール	002	用語集	247
はじめに	003	索引	251
本書の読み方	004	本書のサンプルサイトの 画像について	254

Chapter

1

自分のURLで Webサイトを公開しよう

page
11

Lesson

01	[WordPressとは] まずWordPressとは何かを知りましょう	page 12
02	[ページの作成] WordPressの機能を使ったページの作成方法を理解しましょう	14
03	[スマートフォンへの対応] パソコンとスマートフォン両対応のWebサイトの仕組みを理解しましょう	16
04	[デザインと機能] WordPressで作るWebサイトのデザインの設定方法を知りましょう	18
05	[Webサイトを作る準備] Webサイトを作るのに必要な準備を知りましょう	20
06	[レンタルサーバーの契約] レンタルサーバーを選んで契約しましょう	22
07	[独自ドメインの取得] 自分だけのドメインを取得しましょう	28
08	[ネームサーバーの設定] 独自ドメインでWebサイトが表示されるようにしましょう	33

Chapter 2

WordPressの初期設定をしよう

page
39

Lesson

09	[WordPressのインストール] 簡単インストールでWordPressを利用できるようにしましょう	page 40
10	[WordPressのアップデート] 最新のバージョンにアップデートしましょう	46
11	[独自ドメインでのWebサイト表示] 独自ドメインでWebサイトが表示されるように設定しましょう	48
12	[ログイン/ログアウト] 管理画面へのログイン方法を覚えましょう	52
13	[管理画面の画面構成] WordPressの管理画面の見方を覚えましょう	54
14	[Webサイトの名前] Webサイトの名前とキャッチフレーズを設定しましょう	56
15	[パーマリンク] パーマリンク(ページのURLの形式)は最初に設定しておきましょう	58
16	[検索エンジンのインデックス] 完成まで検索エンジンにヒットしないようにしましょう	60
17	[Webサイトの表示] Webサイトを更新する流れを確認しましょう	62

Chapter 3

Webサイトのデザインを決めよう

page
65

Lesson

18	[Webサイトのレイアウト] Webサイトのレイアウトを決めましょう	page 66
19	[テーマの設定] デザインとレイアウトを決めるテーマを設定しましょう	68
20	[基本デザインの設定] BizVektorの基本デザインを設定しましょう	76
21	[ロゴの設定] Webサイトのロゴを設定しましょう	81

Lesson		page
22	[色の設定] Webサイトのイメージに合った色合いを決めましょう	84
23	[背景画像の設定] 背景画像を設定してWebサイトを華やかにしましょう	90
24	[ヘッダー画像の設定] Webサイトの顔となるヘッダー画像を設定しましょう	93
25	[連絡先の設定] お店の連絡先を掲載しましょう	97

Chapter

4**掲載するコンテンツを作成しよう**page
101

Lesson		page
26	[コンテンツの作成] どんなコンテンツを作っていくのか整理しましょう	102
27	[「投稿」と「固定ページ」] 「投稿」と「固定ページ」の違いを覚えましょう	104
28	[投稿の公開] 「投稿」機能で新規ページやブログ記事を作成しましょう	106
29	[画像付きの投稿] 投稿に画像を付けて内容を伝わりやすくしましょう	110
30	[文字の装飾] 文字の装飾やリンクの設定で投稿を読みやすくしましょう	116
31	[動画の投稿] YouTubeの動画を掲載した投稿を公開しましょう	121
32	[アイキャッチ画像] アイキャッチ画像を設定して投稿に興味を持ってもらいましょう	127
33	[投稿の編集や削除] 投稿内容の修正や削除の方法を覚えましょう	131
34	[カテゴリーの整理] ジャンルごとに投稿をカテゴリーに分けて整理しましょう	135
35	[固定ページの作成] 決まった場所に表示したい情報は固定ページとして作成しましょう	140
36	[固定ページのテンプレート] テンプレートや親子関係を設定して固定ページの内容を充実させましょう	142
37	[メディアの活用] 画像の管理や編集の方法を覚えましょう	144

Chapter 5

サイト全体の ナビゲーションを整えよう

page
149

Lesson

- | | | |
|----|--|-------------|
| 38 | [Webサイトのナビゲーション]
Webサイトに設定できるナビゲーションの役割を理解しましょう | page
150 |
| 39 | [メインメニューの設定]
コンテンツの入り口となるメインメニューを設定しましょう | 152 |
| 40 | [サイトマップの作成]
コンテンツを一覧で表示するサイトマップを作成しましょう | 162 |
| 41 | [フッターメニュー]
サブコンテンツはフッターメニューに設定しましょう | 164 |
| 42 | [ウィジェット機能の活用]
ウィジェットを設置してコンテンツへの入り口を充実させましょう | 167 |
| 43 | [PRエリアの設定]
重要な情報はトップページのPRエリアでアピールしましょう | 171 |

Chapter 6

プラグインを利用して 機能を追加しよう

page
175

Lesson

- | | | |
|----|---|-------------|
| 44 | [プラグイン]
WordPressの機能を強化するプラグインを追加しましょう | page
176 |
| 45 | [地図の掲載]
スマートフォンからも見やすいアクセスマップを掲載しましょう | 179 |
| 46 | [問い合わせフォームの設置]
訪問者からの要望に応える問い合わせフォームを作成しましょう | 184 |
| 47 | [ギャラリーの作成]
ギャラリーを作成して商品や作品をアピールしましょう | 190 |
| 48 | [スライドショーの設定]
スライドショーを表示してキャンペーンを告知しましょう | 197 |

Chapter
7Webサイトへの集客を
強化しようpage
201

Lesson			
49	[Webサイトへの集客]	訪問してもらえるWebサイトにしましょう	page 202
50	[アクセス解析]	アクセス解析で訪問者の推移を調べましょう	204
51	[SEO対策]	SEO対策で検索エンジンからの訪問者を増やしましょう	207
52	[サイトマップの送信]	GoogleのウェブマスターツールにXMLサイトマップを登録しましょう	209
53	[ソーシャルメディア連携]	ソーシャルメディアと連携して更新を積極的に告知しましょう	215
54	[ソーシャルボタンの設置]	Webページのリンクを投稿できるソーシャルボタンを設置しましょう	220

Chapter
8Webサイトを
安全に運用しようpage
223

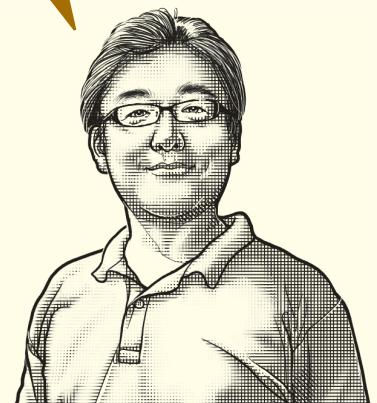
Lesson			
55	[パスワードの管理]	強力なパスワードを設定してセキュリティーを強化しましょう	page 224
56	[コメントの管理]	コメントの管理が難しければコメント欄を非表示にしましょう	226
57	[管理者の追加]	複数人で管理する場合はユーザーを追加しましょう	231
58	[Webサイトデータのバックアップ]	定期的にバックアップを行う仕組みを作りましょう	234
59	[Webサイトのデータのセキュリティー]	バックアップサービスのパスワードを定期的に変更しましょう	243

Chapter

1

自分のURLで Webサイトを 公開しよう

まずはWebサイトのデータを保存しておく場所となる「サーバー」、インターネット上で自分のWebサイトの住所となる「ドメイン」など、Webサイトを持つために必要な準備をしていきましょう。



Lesson

01

[WordPressとは]

まずWordPressとは何かを知りましょう

WordPressとは、個人のブログから企業サイトまでさまざまなWebサイトで利用されているシステムです。**特別な知識がなくても簡単な操作で本格的なWebサイトが作れたり、情報を追加・更新したりできる**

ことが特徴です。これまで見ていたWebサイトも「実はWordPressで作られていた！」なんてことがよくあります。まずは、なぜWebサイトを作成する際にWordPressがおすすめなのかを見ていきましょう。



私、花屋をしているんですけれど、もっとお店のことを知ってもらいたくてWebサイトを作りたいんです。



花屋さんのWebサイトなら、お店の地図を掲載したページや、販売している花の写真が掲載されたギャラリーとともにほしいですね。



まさにそんな感じです！やりたいことはたくさんあるんですけど、どんどん難しくなっちゃう気がして。



じゃあ、WordPressで作ってみましょうか！まずは、どんなWebサイトを作成できるのかを見ていきましょう。

○ WordPressで作成できるWebサイト

この花屋さんのWebサイトはWordPressで作成したものです。WordPressは、Webサイト作成の特別な知識がなくても、簡単なブログから本格的なWebサイトまで簡単に作成できる仕組み（ソフトウェア）のことです。





あ～！まさにこんな感じです。でも、どうやったらこんなWebサイトが作れるんですか？HTMLでしたっけ？覚えないといけないんでしょうか？



大丈夫ですよ。Webサイトというのは、HTMLのほかにもCSSやPHPという仕組みを使って作成されているんですが、そういう専門知識が必要な部分を代わりにこなしてくれるのがWordPressなんです。



私は何をしたらいいんでしょうか？



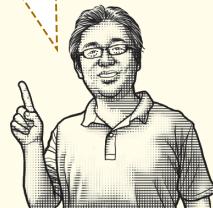
WordPressには専用の管理画面が用意されています。この画面上で、Webサイトに必要な文章や画像を入力していきます。

○ 特別な知識がなくてもWebサイトを作れる

従来は特別なタグを入力し、HTMLファイルを自分で作成する必要があった。

The screenshot shows the WordPress 4.0 dashboard. On the left sidebar, there are links for Home, Write, Pages, Information, Media, Custom, Widgets, Appearance, Plugins, Themes, Tools, and Settings. The main area has three sections: 'Dashboard' (with 2 posts and 9 static pages), 'Quick Draft' (with a draft titled 'WordPress 4.0 (Bluelotus テーマ) 基本エントリのインデックスを追加中'), and 'WordPress ニュース' (with news items about WordPress 4.0 and custom post types).

WordPressでWebサイトを作る際は、ほぼすべての操作をこの管理画面上で行います。基本的にはクリックや文章の入力だけでどんどんWebサイトを作成できるようになっています。難しいコードを入力する必要はないので安心してください。



WordPressでは管理画面上で必要な文章や画像を用意していくだけでHTMLファイルの作成などは自動で行われ、Webサイトを作成できる。

① COLUMN

専門知識がなくてもWebサイトを作成できるCMS

HTMLやCSSなどの特別な知識を持っていなくても、Webサイトを作成・運営できるソフトウェアをCMS（Contents Management System）と呼びます。WordPressもこのCMSの1つです。CMSの中には、

有料のソフトウェアとして販売されているものもありますが、WordPressはWeb上で無料で公開されているため、世界中のユーザーに利用されています。

Lesson 02

[ページの作成]

WordPressの機能を使った ページの作成方法を理解しましょう

次に、具体的にはどのようにWebサイトを作成していくのか、WordPressの基本的な機能を確認していきましょう。Webサイトは、たくさんのページが組み合わさっ

て1つのサイトとして構成されています。WordPressでは「投稿」と「固定ページ」の2種類を使い分けてページを作成できるようになっています。



どうやって、いろんなページを作っていくんですか？

WordPressってもともとはブログを作るために用意されたソフトウェアなんです。でも、ブログの仕組みだけでは、お店や会社のWebサイトは作れません。どうしてかわかりますか？



たまに、ブログをWebサイト代わりに使っているお店を見かけるんですが、最新の情報はわからても、肝心の営業時間や定休日とか地図が見つからないんですね。

そうなんですね。もしブログの機能だけでWebサイトを作ったら、お店の営業案内や地図などの重要なページが古いページとして埋もれてしまうんです。それを解消するために、WordPressには「固定ページ」という機能が用意されているんですよ。



○「固定ページ」と「投稿」を使い分けてコンテンツを作成する

お店の情報

お店の地図

商品の一覧

お知らせ

入荷情報

店長ブログ

WordPressでは、最新の投稿がブログのようにどんどん更新されていく「投稿」機能と、常に特定の場所に掲載する重要な情報を作成するための「固定ページ」機能が用意されています。

めったに内容が変わらない基本のページは「固定ページ」で作成する

日々更新され、時系列で見せたい情報は「投稿」として作成する





なるほど！固定ページを使えばいろいろな種類のページを作れそうですね。ページはどういう操作で作るんですか？

ブログを作成するためのソフトウェアとして作られただけに、ページの作成はとても簡単です。基本的にはタイトルと文章を入力するだけで簡単にページを作成できますよ。



画像や動画を入れたこだわりのページとかは作れないんですか？

画像を入れたページも直感的に作成できるようになっています。ページの作りやすさは、作った後の情報の更新のしやすさにもつながります。これを理由にWordPressを導入する人も多いんですよ。



○ ブログのシステムで簡単にページを作成できる

メディアを挿入
ギャラリーを作成
アイキャッチ画像を設定
URL から挿入

メディアを挿入
ファイルをアップロード メディアライブラリ
すべてのメディア 検索

添付ファイルの詳細
rose.jpg 2014年10月1日 534 kB 2094 × 2950 花束を複数選択する

URL: [http://florist-akio.jp/wp-content/uploads/2014/10/rose.jpg] タイトル: バラの花 キャプション:
代替テキスト: バラの花 説明:
添付ファイルの表示設定

変更をレビュー
ステータス: 公開済み 編集
公開状態: 公開 編集
リビジョン: 4 未登記
公開日: 2014年10月10日 19:03 編集
バージョン: 共有: 編集 定義
公開へ移動

更新

管理画面のページを作成する機能から、タイトルや文章を入力していくだけでページを作成できるようになっています。画像を管理するライブラリ機能も用意されています。よく利用する機能を気軽に扱えるのは安心ですね。

ブログのシステムで「投稿」も「固定ページ」も作成できる。



Lesson 03

[スマートフォンへの対応]

パソコンとスマートフォン両対応の Webサイトの仕組みを理解しましょう

パソコンだけではなく、スマートフォンやタブレットなど小さな画面の機器でWebサイトを訪れる人が増えています。そこで注目されているのが「レスポンシブWebデザイン」という考え方です。レスポン

シブとは「反応がよい」という意味で、パソコンなど大きな画面で表示するときは大きいまままで、スマートフォンなど小さな画面で表示するときは自動的に見やすいレイアウトに調整するWebサイトの作り方です。



最近はスマートフォンやタブレットでインターネットを利用する人も増えたそうですが、パソコン向けのWebサイトとは別に作っていくのは面倒ですね。



そんなことはありませんよ。本書で紹介している手順で作業していくれば、画面の大きさに合わせてレイアウトを自動で調整してくれるWebサイトができます。



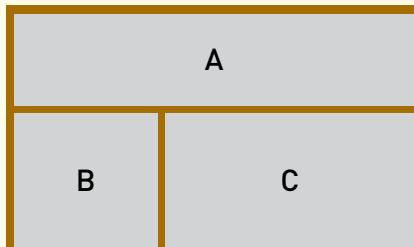
それは便利ですね！コンテンツの作成や更新作業だけに集中できるのはうれしいです。



ただ、画像のサイズなどスマートフォン向けに調整しなければならない部分もあるので注意が必要です。

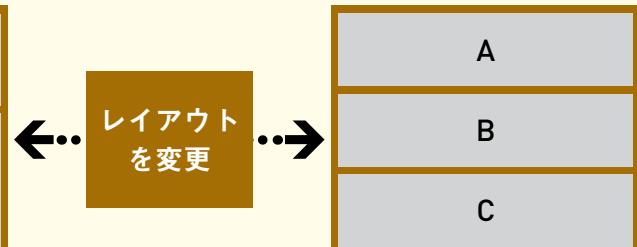
○ 表示する機器に合わせてレイアウトを変更する

・パソコンの表示



パソコンの画面は広くて大きいので、左右の領域を広く使って各コンテンツを配置する。

・スマートフォンの表示



スマートフォンやタブレットの縦表示は画面の横幅が短いので、各コンテンツを縦に並べて配置する。

○ 実際にパソコンとスマートフォンに表示してみる

後述しますが、本書で利用するWordPressのテーマ「BizVektor」は、標準でレスポンシブWebデザインに対応しています。作成したWebサイトを、パソコンとスマートフォンそれぞれで表示した画面を掲載しているので、その変化を確認してみましょう。パ

ソコンでは上部によく使うメニューが表示され、お店情報やギャラリーへのリンク、更新情報が左右に並ぶレイアウトです。しかしながらスマートフォンでは、よく使うメニューのほか、ほぼすべての要素が縦に並ぶレイアウトに変わります。

パソコン



広い画面を生かして、メニュー、お店情報、ギャラリー、スクール、問い合わせ先などをスクロールせずに俯瞰できる。

スマホ縦表示



スマートフォンでは、メニュー や連絡先は省スペース化のために電話のデザインのボタンになり、必要な人はそこをタップすれば情報が表示される。お店情報、ギャラリー、スクールなどは横一列から縦一列に切り替わって表示される。

スマホ横表示



スマートフォンを横向きにして表示すると、縦表示のときの配置のままに横幅を広げて表示する。画像のサイズが大きくなるほかに、1行に表示できる文字量が増えるので長めの文章を読みやすくなる。

本書では各Lessonでの完成イメージ紹介時に、パソコンでの表示画面とともに、スマートフォンでの表示画面も掲載しています。パソコンとスマートフォンの見え方の違いをよくチェックし、Webサイト構築の作業に役立ててください。



Lesson 04

[デザインと機能]

WordPressで作るWebサイトの デザインの設定方法を知りましょう

ページの作りやすさだけが、WordPressの特徴ではありません。Webサイト

全体の構成やデザインを決めるための「テーマ」や、さまざまな機能を追加できる「プラグイン」がたくさん公開されています。この

テーマやプラグインを活用することによって、CSSなどの専門的な知識がなくても、それらを選ぶだけでWebサイトのデザインを変えたり、機能を追加したりできるようになっています。



全体のデザインやレイアウトはどうやって作っていくんですか？



WordPressには「テーマ」と呼ばれるWebサイト全体のデザインとレイアウトを決めるテンプレートが用意されているんです。さらに、「プラグイン」という仕組みを使って、後からどんどん機能を加えていけますよ。



デザインのセンスがないので不安です。



安心してください！基本的にはたくさんあるテーマやプラグインの中から必要なものを選んでいくだけです。どんどんデザインや機能を追加していけますよ。

○「テーマ」を選ぶだけでデザインや構成が決まる

テーマA



テーマB



テーマC



テーマをセットするだけでデザインや構成が変えられる



「ブログ風のデザイン」「企業のWebサイト」など目的に合わせたWebサイトの構成とデザインを決められるのが「テーマ」です。テーマを適用するだけで、同じコンテンツのWebサイトでも大きく印象が変わります。



○「プラグイン」で機能が増えていく

問い合わせ
フォーム作成

ソーシャル
メディア連携

アクセス解析

管理画面にさ
まざな機能
を追加できる

プラグインを追加すること
で管理画面でできることが
増えています。

例えば、問い合わせ用のページを作成する
機能などを追加できるのが「プラグイン」
という仕組みです。必要な機能をどんどん
追加していくようになっています。



自分でゼロから作っていくわけじゃないんですね！

プラグインやテーマを選んで、プラモデルのように組み立て
ていく感じですね。WordPressは利用者も多いので、テーマや
プラグインもたくさん用意されていますよ。



何だか私にも作れそうな気がしてきました。

その意気です！では、実際の作り方を
順番に学んでいきましょう！



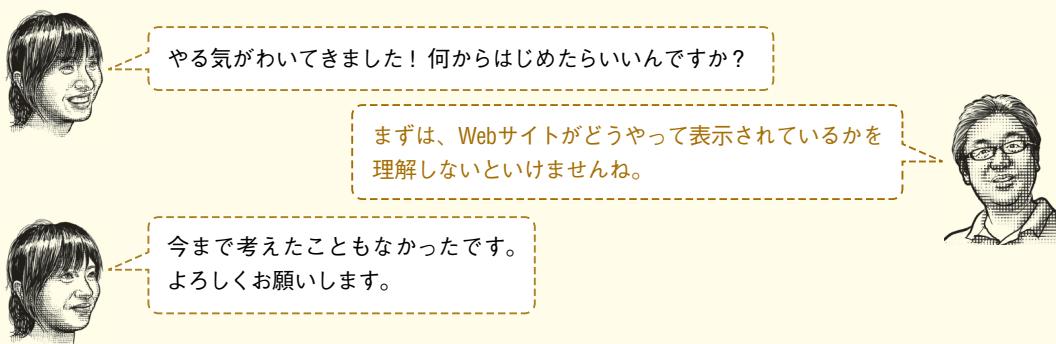
Lesson 05

[Webサイトを作る準備]

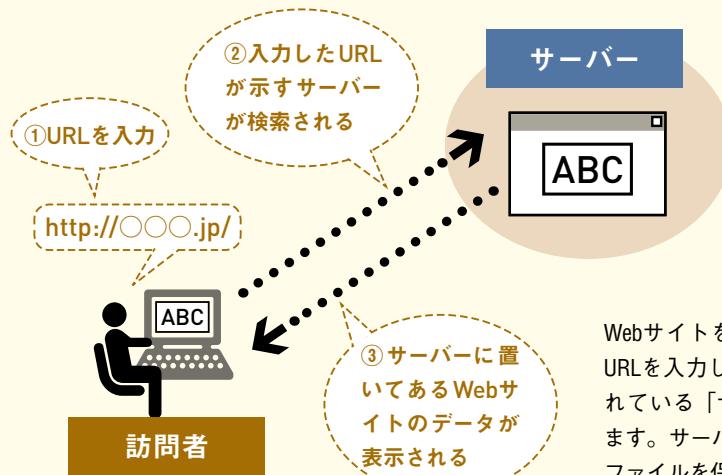
Webサイトを作るのに必要な準備を知りましょう

私 たちが普段見ているWebサイトは、どのような仕組みで表示されているのかわかりますか？インターネットを見ているだけなら、深く考えたことがない部分かもしれません。でも、これから自分が情報を発信

する側になるにあたって、この仕組みが頭に入っているかどうかで、理解の度合いやつまずき具合も変わってきます。いくつかのステップを踏んで、しっかり学んでいきましょう。



○ Webサイトが表示される仕組み



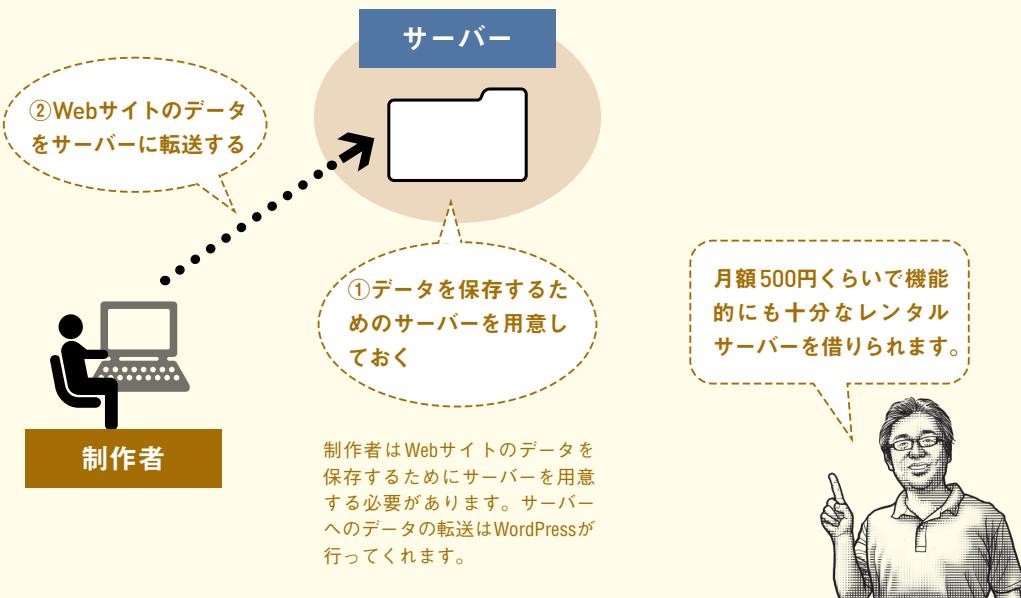
訪問者がブラウザでURLを入力すると、対応するサーバーが検索されます。サーバーに保存されているWebサイトのデータがブラウザに表示されることで、Webサイトが表示されます。

Webサイトを表示するには、まずブラウザでURLを入力して、Webサイトのデータが保存されている「サーバー」を検索する必要があります。サーバーというのはWebサイトに必要なファイルを保存しておく場所のことです。サーバーに保存されたファイルが、ブラウザ上でWebサイトとして表示されます。つまり、Webサイトを公開するには、「サーバー」と「URL」が必要になるのです。

○ 「サーバー」はレンタルサーバーを借りる

前ページの図は訪問者側の視点でしたが、Webサイトの制作者はサーバーにWebサイトのデータを転送する必要があります。ただ、この転送作業はWordPressが行ってくれるので特に気にしなくとも大丈夫です。しかし、サーバーの用意はしなければなりません。とはいっても自分で何か機械を買ってき

て設定するわけではありません。さまざまな会社が、サーバーを月額数百円でレンタルできるサービスを提供しているので、これを利用します。データを置くためのロッカーや借りるとイメージしやすいかもしれませんね。レンタルサーバーについては、Lesson 6で詳しく解説します。



○ 自分だけのURLを取得する

サーバーにデータが置いてあるだけでは訪問者はそのデータにたどり着くことができません。そこで必要となるのが、サーバーの場所を示す住所となる「URL」です。このURLを決めるのが「ドメイン」です。例えば、「<http://○○○.jp>」というURLでは、「○○○.jp」の部分がドメインになります。このドメイ

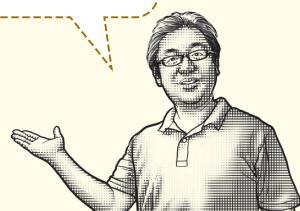
ンは、早い者勝ちで自由な名前を取ることができます。そのようなドメインを「独自ドメイン」と言います。お店や会社の名前が入ったドメインを持っておくことで、Webサイトの信頼度がぐっと上がります。詳しくはLesson 7で解説します。

・WebサイトのURL

<http://○○○.jp/>

↓
ドメイン

せっかくだから、オリジナリティがあって、覚えやすいものにしたいですね！



Lesson 06

[レンタルサーバーの契約]

レンタルサーバーを選んで 契約しましょう

最 初に、これから作る自分のWebサイトのデータを置くために「レンタルサーバー」を契約します。「サーバーを契約」と聞くと身構えてしまうかもしれません、特に難しいことはありません。本書ではレンタルサーバー大手の「さくらインターネット」の有料サービス（スタンダードプラン：月額515円）を例に解説します。無料のサービスでもWebサイトは作れますぐ、広告が消せなか

ったり、使える機能に制限があったりします。せっかく自分だけのWebサイトを作るのですから、制限がなく使いやすい有料のレンタルサーバーを契約するのをおすすめします。本書ではWordPressを使ってWebサイトを制作していきます。「WordPressを簡単にインストールできる」という視点から、サービスを選びましょう。



レンタルサーバーって、どうやって選べばいいんですか？

「WordPress対応」をうたっているサービスを選べば確実ですね。次ページに一覧表を用意したので、見てみてください。



○「簡単インストール」機能があるサービスを選ぶ

WordPressを使ってWebサイトを作る人が増えていることから、最近はWordPress利用者をサポートしているレンタルサーバー業者も多くあります。具体的には、「簡単インストール」といった機能を設けて、レンタルサーバーの管理画面から指示に従いクリックしていくだけでWordPressをインストールできるようになっています。はじめての人は、そのような「簡単インストール」を用意しているレンタルサーバーを選ぶとスムーズでしょう。

WordPressの簡単インストールに対応したレンタルサーバーがおすすめです。



○ 簡単インストールに対応した主なレンタルサーバー

レンタルサーバー名	月額費用	初期費用	ドメイン
エックスサーバー	1,080円～	3,240円	○
お名前.com	1,404円～	1,944円	○
さくらインターネット	515円～	1,029円	○
ロリポップ！	324円～	1,620円	○ (ムームードメイン)

※2014年10月現在の税込み価格。

※WordPressが利用可能な一番安価なプランで月払いにした際の価格。年間一括払いなどで価格は変動する。

レンタルサーバーはお店に行って契約するものではなく、インターネット上から申し込みをします。それぞれのレンタルサーバーのWebサイトでフォームから申し込みをするので、あらかじめメールアドレスを準備しておく必要があります。多くのレンタルサーバーでお試し期間として1～2週間お金払う前に試しに使うこともできます。時間があるなら、まずはお試しで使ってみてから本契約をするといいでしょう。

表は、国内でWordPressの簡単インストールに対応している主なレンタルサーバーの一覧です。本書では、「さくらインターネット」で手順を進めていきますが、ほかのサービスを利用していてもChapter 2以降のWordPressの操作はほぼ変わりません。

独自ドメインの取得サービスがあるかもポイントですね。



○ WordPressを利用できるプランを選ぶ(さくらインターネットの場合)

プラン	ライト	スタンダード	プレミアム	ビジネス	ビジネスプロ
月額費用	1,543円／年 (月額換算129円)	515円	1,543円	2,571円	4,628円
初期費用	1,029円	1,029円	1,029円	5,142円	5,142円
容量	10GB	100GB	200GB	300GB	500GB
WordPressの簡単インストール	×	○	○	○	○
データベース機能(MySQL)	×	○ (20個)	○ (50個)	○ (100個)	○ (200個)

※2014年10月現在の税込み価格。

さくらインターネットでは、サーバーの容量や機能に応じて複数のプランが用意されていますが、一番安い「ライトプラン」では、データベース機能(MySQL)が利用できないため、WordPressをインストールできません。さくらインターネットを利用する場合は、必ず「スタンダードプラン」以上を選びましょう。通常の企業サイトや個人サイトであれば、容量的にもスタンダードプランで十分です。

○ レンタルサーバーと契約する



1 さくらインターネットで申し込みをはじめる

- さくらインターネットのWebサイト (<http://sakura.ne.jp/>) を表示します。
- 上のタブにある【お申し込み】をクリックします。
- 【さくらのレンタルサーバ・さくらのマネージドサーバ・さくらのメールボックス】の【オンラインサインアップ】をクリックします。

◆ さくらインターネットをご利用いただいたことがありますか？

はじめて利用する 会員IDがある、現在さくらを利用中

◆ ご希望のサービスプランをお選びください

サービスプラン	お申し込み期間 2週間無料	ディスク 容量	初期費用	料金 毎月支払	料金 年間一括
ライト	<input type="radio"/>	10GB	¥1,029	-	¥1,543
スタンダード 人気 No.1	<input checked="" type="radio"/>	100GB	¥1,029	¥515	¥5,142
プレミアム	<input type="radio"/>	200GB	¥1,029	¥1,543	¥15,428
ビジネス	<input type="radio"/>	300GB	¥5,142	¥2,571	¥25,714
ビジネスプロ	<input type="radio"/>	500GB	¥5,142	¥4,628	¥46,286

初期ドメイン名は、コントロールパネルへのログインに使用するほか、ホームページやメールアドレスのドメインとしてもご利用いただけます。

独自ドメイン、サブドメインをご希望のお客さま
お客様所有の独自ドメインやさくら提供のサブドメインは、サービスご利用開始後にコントロールパネルより追加・設定いただけます。

初期ドメイン名
florist-aki.sakura.ne.jp

※初期ドメインはお申し込み完了後に変更できません。

▶ 利用規約の確認へ

2 プランやドメインを選択する

- 【はじめて利用する】をクリックして選択します。
- 【スタンダード】をクリックして選択します。
- 希望するドメイン名を入力します。
- 【利用規約の確認へ】をクリックします。

P POINT

独自ドメイン (Lesson 7を参照) を利用しない場合は、ここで入力した初期ドメインがWebサイトのURLになります。店名やWebサイト名などに近いものを入力しましょう。

SAKURA Internet ONLINE SIGNUP

◆以下の約款及び個人情報の取扱いについてよくご確認ください。

弊社のサービスをご利用になる場合、サービス約款のすべての条項に同意していただく必要があります。

「個人情報の取扱いについて」をご覧いただき、併せて全ての条項に同意していただく必要があります。

同意する場合は「同意する」をチェックしてください。規約に同意しない、またはオンラインサインアップを中止する場合は「同意しない」をチェックしてください。

この規約はサービス案内のページにも掲載していますので随時確認していただけます。

基本 約款

第1章 総則
第1条 (お読みの構成および適用)

1. 当社は、以下のとおり構成される当社約款に基づき契約（以下、その契約を「利用契約」といいます）当社と利用契約を締結した者を「利用者」といいます）を締結の上、インターネット関連サービス（以下、「本サービス」といいます）を提供します。

個人情報の取扱いについて

さくらインターネット株式会社（以下、「当社」といいます）では、個人情報の重要性を踏まえ、個人情報を販売うなぎに個人情報を保護する法律・国が定める指針・その他の規範を遵守し、個人情報の保護を推進してまいります。

■個人情報の収集

同意する 同意しない

お客様情報の入力へ

3 利用規約を確認する

- 1 「基本約款」と「個人情報の取扱いについて」の内容を確認します。
- 2 【同意する】をクリックして選択します。
- 3 【お客様情報の入力へ】をクリックします。

SAKURA Internet ONLINE SIGNUP

◆お客様の情報をご入力ください
(*)印は必須入力となります

メールアドレス(*) : @hotmail.com

* 各種ご案内についての連絡先としてメールをお送りします
携帯電話のメールアドレスは使えません
メールアドレスのご指定についてはこちらの「注意事項」をご覧ください

メールアドレス(*) : @hotmail.com

(確認用) 入力ミスを防ぐため、上と同じアドレスを再度入力してください

ご契約者の種別(*) :

ご契約者名(*) : 姓 : 名 :
(例) 山田 太郎

ご契約者名カナ(*) : 姓 : 名 :
(例) サンダ タロウ

生年月日(*) : 1988(昭和63) 年 月 日
本人確認、ハガキ一通宛て郵便料金にて必要です。
正しい生年月日をご入力ください。

性別(*) : 男性 | 女性

4 メールアドレスと契約者種別を設定する

- 1 使用したいメールアドレスを入力します。
- 2 確認のため再度メールアドレスを入力します。
- 3 契約者の種別を選択します。
ここでは、【個人】を選択します。

メールアドレス(*) : hotmail.com

(確認用) 入力ミスを防ぐため、上と同じアドレスを再度入力してください

ご契約者の種別(*) :

ご契約者名(*) : 姓 : 名 :
(例) 山田 太郎

ご契約者名カナ(*) : 姓 : 名 :
(例) サンダ タロウ

生年月日(*) : 1988(昭和63) 年 月 日
本人確認、ハガキ一通宛て郵便料金にて必要です。
正しい生年月日をご入力ください。

性別(*) : 男性 | 女性

郵便番号(*) : - 郡町村

ご住所(*) : 都道府県 市区町村
ご契約は日本国内にお住まいの方のみ可能です

街区名・番地等(*) : (例) 山下町3丁目3-14

建物名等 : (例) ハイツ山下3号棟 3階

電話番号(*) : - -

携帯番号 : -

5 契約者の情報を入力する

- 1 契約者の姓と名を漢字で入力します。
- 2 契約者の姓と名をカタカナで入力します。
- 3 生年月日を選択します。
- 4 性別を選択します。